

平成 19 年 10 月 3 日

定期検査中の 1 号機タービン建屋内における油の滴下について

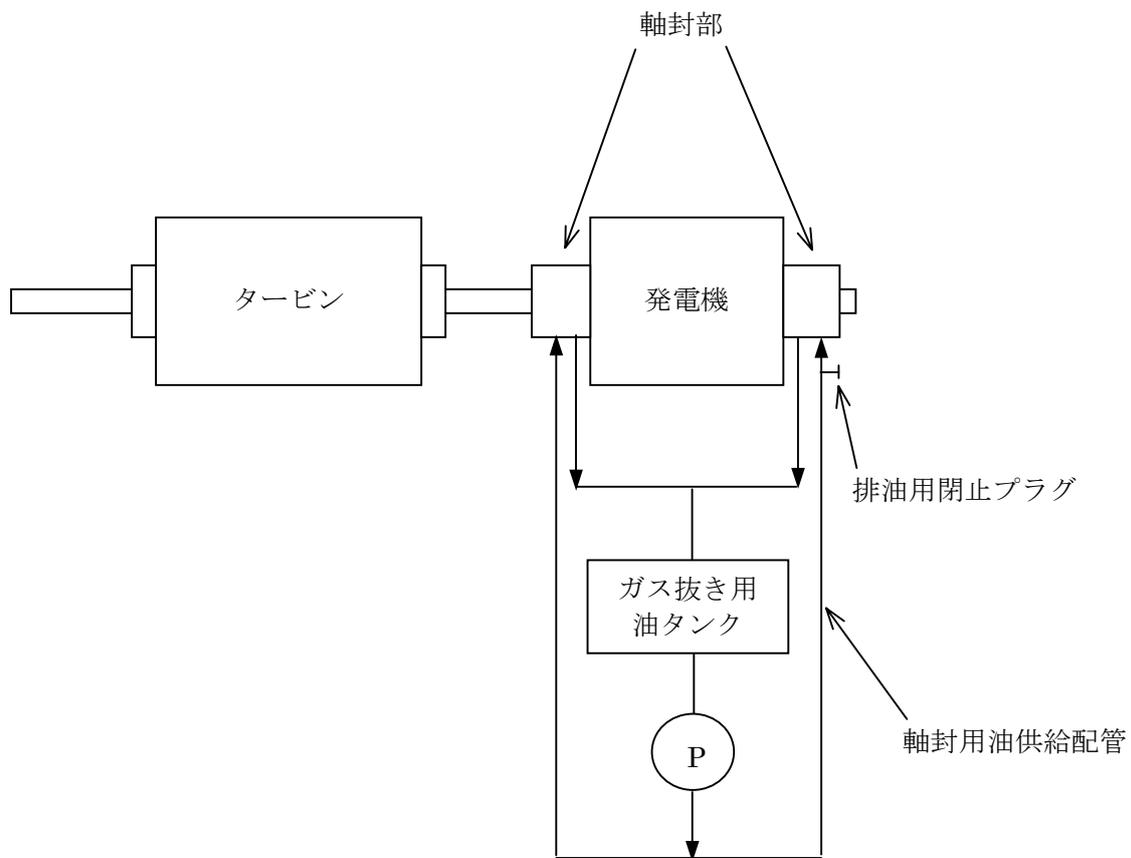
1 号機は定期検査中ですが、平成 19 年 10 月 2 日午後 4 時 20 分頃、タービン建屋 1 階において、発電機下部より油が滴下している（1 秒間に 1 滴程度）ことを協力企業社員が発見しました。

調査の結果、滴下箇所は発電機の軸封用油供給配管の排油用閉止プラグからであり、事象発生当時行っていた発電機機内漏えい試験にともない軸封用油供給配管の圧力が上昇したこと、および当該閉止プラグの締め付けが不足していたことにより滴下したことがわかりました。当該閉止プラグを増し締めしたところ、滴下は停止しております。

なお、滴下した油の量は約 0.4 リットルで、放射能は含まれておらず、拭き取りを行いました。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上



発電機軸封用油系統概略図